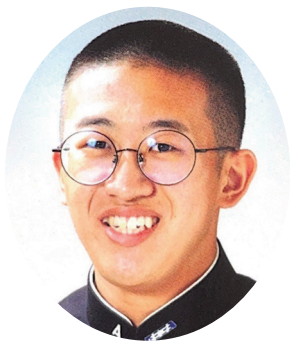


佳作

九州の熊は絶滅していない ～祖母山に暮らす登山家の山小屋～

設計主旨

九州のツキノワグマは絶滅したとされています。環境省が作成したレッドリストでは「絶滅のおそれがある地域個体群」に分類され、九州各県の見解も野生



大分工業
小野匠

熊はすでに絶滅したとされています。

しかし、熊と思われる野生動物の目撃情報は各地で寄せられており、特に大分県の祖母・傾山山系では目撃情報が多く挙がっている。過去にも調査チームが編成され、現地調査が行われているが、確定的な生息証拠の発見には至っていない。

かつての生息域を奪われ、食糧の不足などで徐々に個体数を減らし、絶滅へと向かっている野生動物は熊だけではなくありません。豊かな自然を受け継ぎ、共生していく使命と責任が私たちにはあると思います。

祖母山に暮らす登山家の山小屋を設計した。近年、趣味や健康のため登山を楽しむ人々が増えており、登山ブームと言われています。登山を楽しむだけでなく、大自然の中での調理やテント泊も登山の魅力の一つです。

この山小屋に暮らす夫婦も登山家で



あり、登山者に宿泊や調理の場を提供しています。もちろん、おいしい料理も・・・山域の見どころの紹介や危険箇所の周知、各地の登山情報の提供も行います。

豊かな自然への敬意と共生の大切さを広めることで、美しい環境を未来へと受け継いでいくのです。

いつの日か、九州のツキノワグマの生息が確認されたときには、今度こそ、熊にとって暮らしやすい山域として、自然保護を大切にしてもらいたい。すべての絶滅危惧種との共生を維持しよう！